職場環境

Q 役場職員のプロ意識とは

A 公平、公正な職務を遂行出来る事

池尻　町役場職員においても中途退職が目立つ。現状はどのようか。

町長　直近5年で23名、そのうち経験年数10年未満の中途退職者数は11名。

池尻　退職される理由は把握されているか。また、中途退職者への対応や対策は。

町長　プライバシーに関わる部分もあるが、ライフプラン、キャリアアップ、理想とのギャップ等様々。終身雇用が当たり前でなくなり、多様な働き方による時代背景も一因。職員アンケートの実施による職場環境の充実化に取り組んでいる。

池尻　時間外労働、サービス残業といったものも耳にする。有給消化は出来ているか。

町長　3割の有給消化を目標としているが、達成してない。時間外等については、本人の仕事のやり方、チームによる仕事のスペックで削減を目指す。

池尻　町の理想とする人材とはどのようなものか。

町長　町民の視点を持ち、自主的、自律的に行動できる職員。

池尻　研修はどのように行われているか。

町長　新規採用者には町内部の研修を3日程、接遇や町の状況、システム使用の研修の基礎的な勉強を行い、県の派遣研修も行っている。

池尻　民間企業との相互研修等の考えはないか。

町長　人事交流を含め考えていない。

池尻　浩一 議員

下水道事業

Q 見直し区域へ補助と計画の更なる見直しは。

A 対策の検討、住民への説明など対応する。

江藤　下水道整備計画見直しの区域は、合併浄化槽の整備で河川の環境保全や生活衛生環境の整備をすることとなる。下水道区域との負担金の均衡を考え、整備や単独浄化槽、汲み取り便槽からの転換、浄化槽維持管理費などへの手厚い補助を求める。

町長　見直し計画が県に承認された。今後、住民への説明、不均衡緩和対応策等の検討を行う。

江藤　一般会計からの繰り入れが続いている。（下記参照）今後の下水道計画はさらに見直すことを求める。

町長　企業会計にしたことにより、財政面が明らかになった。今後十分検討する。

子育て支援

Q 高校卒業年度までの医療費助成を求める。

A 他の支援との総合的な考えから、拡大しない。

江藤　子どもの医療費助成は、病気の早期発見、早期治療を促し、重症化を防いでいる。全国的には、高校卒業年度までの医療費助成は、4割の自治体で実施され、5年間で5倍に伸びている。子ども医療費助成を高校卒業年度まで拡大することを求める。

町長　実施するには、1600万円の経費が予測される。現在のところ考えていない。

江藤美代子 議員

下水道会計の財政状況（R2 年度決算）

■下水道会計起債（借金）残高
　約 28 億 7000 万円

■起債償還金（借金返済）
　約 1 億 3000 万円

■一般会計からの繰入
　約 1 億 7000 万円

※一般会計からの繰入は、令和 21 年度まで増加の見込み（R21 年　2 億 2500 万円余）